

新規コラボ先募集中!

管理文書NO.5713-2

大王製作所は、
地域おこし協力隊をはじめ、地域活性化活動をされている方や
地域を盛り上げたいとお考えの方とのコラボレーションを行っています。

プロジェクト費用

目安 **50万円** + 交通費

*ご予算内でご希望に合わせ内容をご提案いたします。ご相談ください。

セミナー3回

*3回の訪問+電話メールフォロー
*約3か月のプロジェクト
*講師代・材料費含む

どうしたら商品ができるのか
プロセスも方法も
わからないという方に!



全4回のセミナー

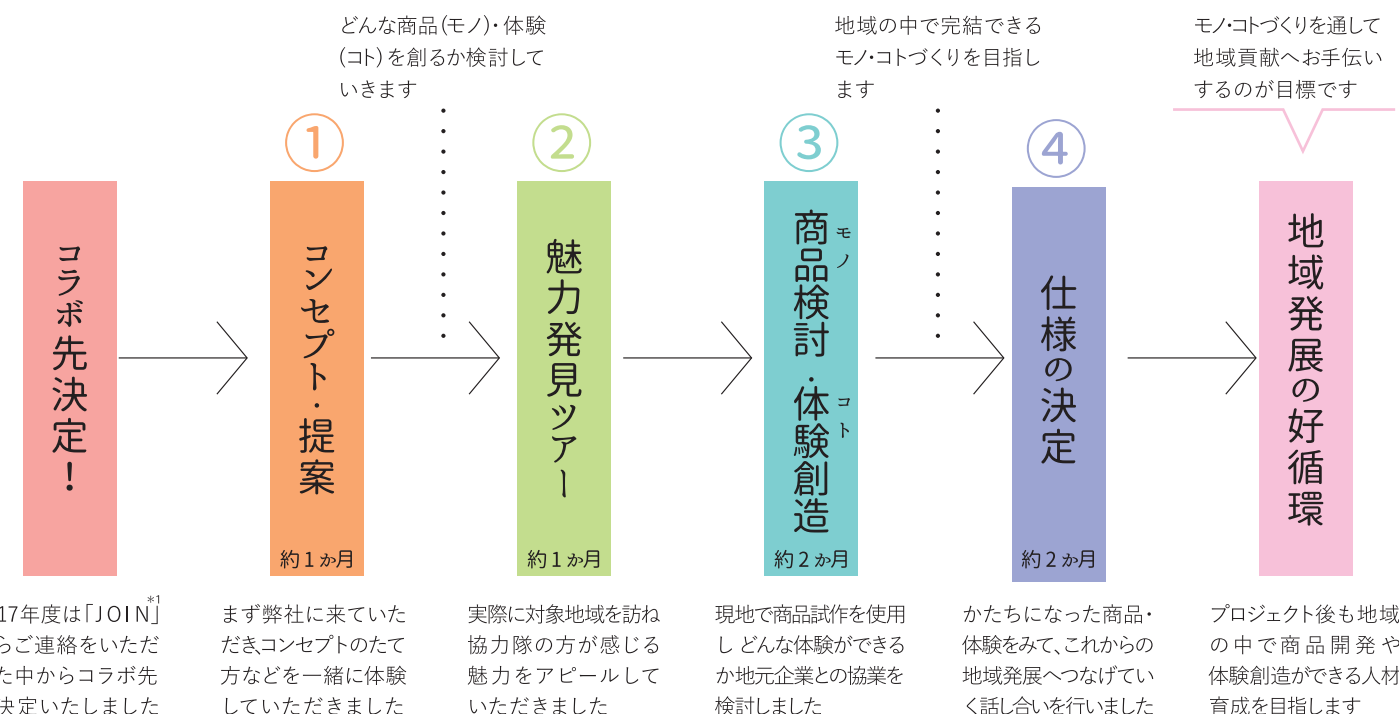
地域で完結する
モノ・コトづくりを

プロジェクト遂行後も
自らモノ・コト開発を行える
人材育成を目指します!



スケジュール例

参考事例: 2017年度伊予市(本プロジェクトはJOIN助成金により行われました)



*1「JOIN」とは地域が都市住民等を受け入れる移住・交流の推進や住民同士の交流により地域を活性化支援を行っている 一般社団法人 移住交流推進機構です

1 パーツ在庫
常時1万種以上

国内倉庫で豊富にパーツを
在庫しているので、緊急の
ご発注にも迅速に対応できます。

2 年間製作実績
1000点以上

創業半世紀以上の豊富な知識
と経験でお客さまの多種多様
なご要望に沿った提案をいた
します。

3 充実した社内設備で
試作スピードUP

3Dプリンター等の設備機器で
アイデアをすぐに可視化!
お客様の企画開発を強力に
サポートいたします。

4 国内外生産拠点500以上の
幅広いネットワーク

国内外の幅広いネットワークで
ロット・納期・ご予算に応じた
製品を実現します。



大王製作所 一般社団法人
DAIO MANUFACTURING 移住交流推進機構(JOIN)一般会員

▶ 本社・東京営業所
〒111-0021 東京都台東区日本堤2-10-9
TEL:03-3876-1345 FAX:03-3876-1349
営業部 コト事業課 info@daiomfg.co.jp

<http://www.daiomfg.co.jp/>

お気軽に
お問い合わせ
ください!



5 中間マージン削減による
低コスト体制

広告代理店を挟まない
製造メーカー直接取引による
低コストを実現します。

6 ISO9001、ISO14001、ISO27001
ISO認証取得企業

国際基準にのった管理
体制で安心安全な商品と
サービスを提供いたします。

大王製作所 × 地域おこし協力隊

モノ → コト

開発のプロセスが
分からない! ?

地域おこし協力隊を
強力にサポートします

企業
サポート

地域おこし協力隊の
組織が強化されます

優秀な協力隊が
集まりやすくなります

隊員にノウハウが
身につきます

任期終了後も地元での
起業・就職につながります

地域発展の好循環

地域の魅力
商品アイデア

collaboration

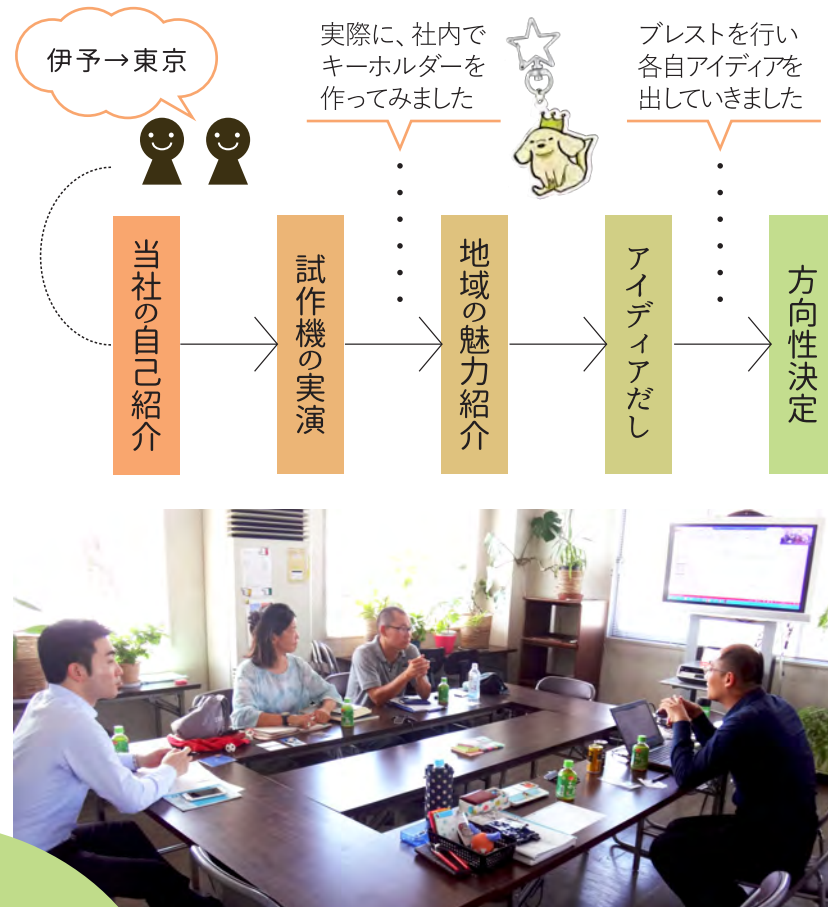
商品知識
開発プロセス

地域おこし協力隊

大王製作所

「モノ・コトづくり」を通して
「人」を育てるをコンセプトに
「モノ・コトづくり」のノウハウが豊富な大王製作所と
「アイデア」溢れる地域おこし協力隊がコラボし
「眠れる宝」の再発見により地域発展の好循環を目指します

紹介



STEP1では、今回コラボを行う愛媛県伊予市の「地域おこし協力隊」のお二人を大王製作所の東京営業所へお招きしました。そこで、当社の概要と強みを説明し、社内にある試作機を使って実際に「モノ」ができるところを見ていただきました。

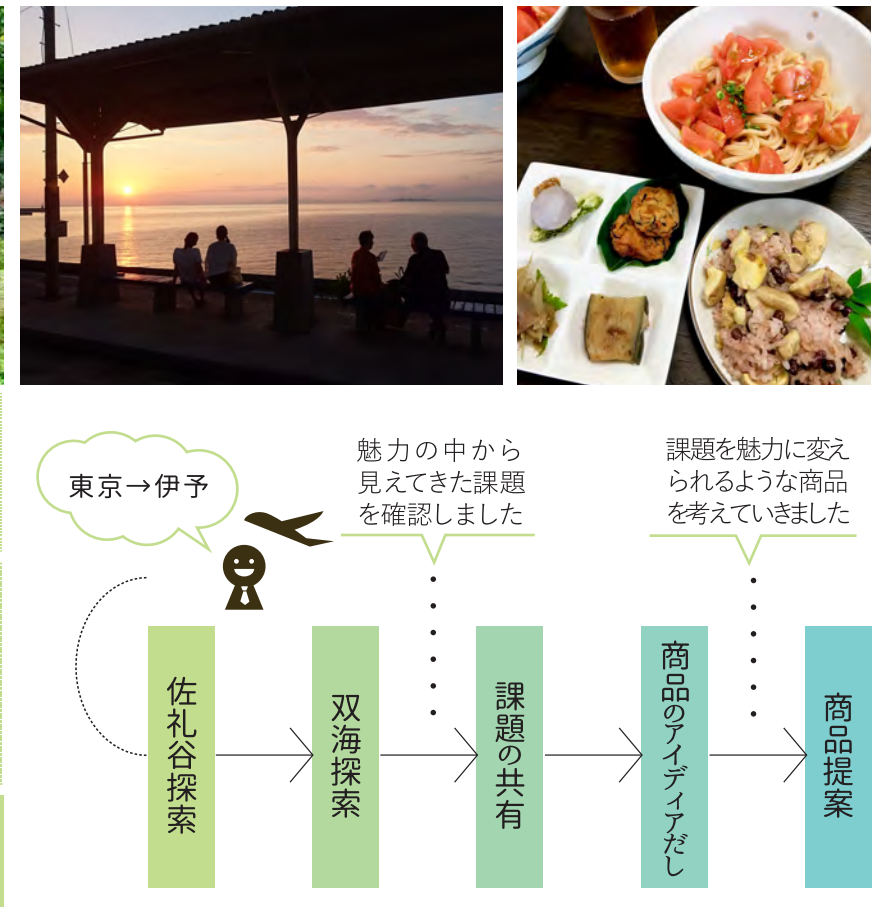
後半は、地域の魅力だと思うところを伝えていただき、「お土産」をテーマにブレインストーミングを行いテーマの方向性などを確認しました。

STEP1: コンセプト・提案

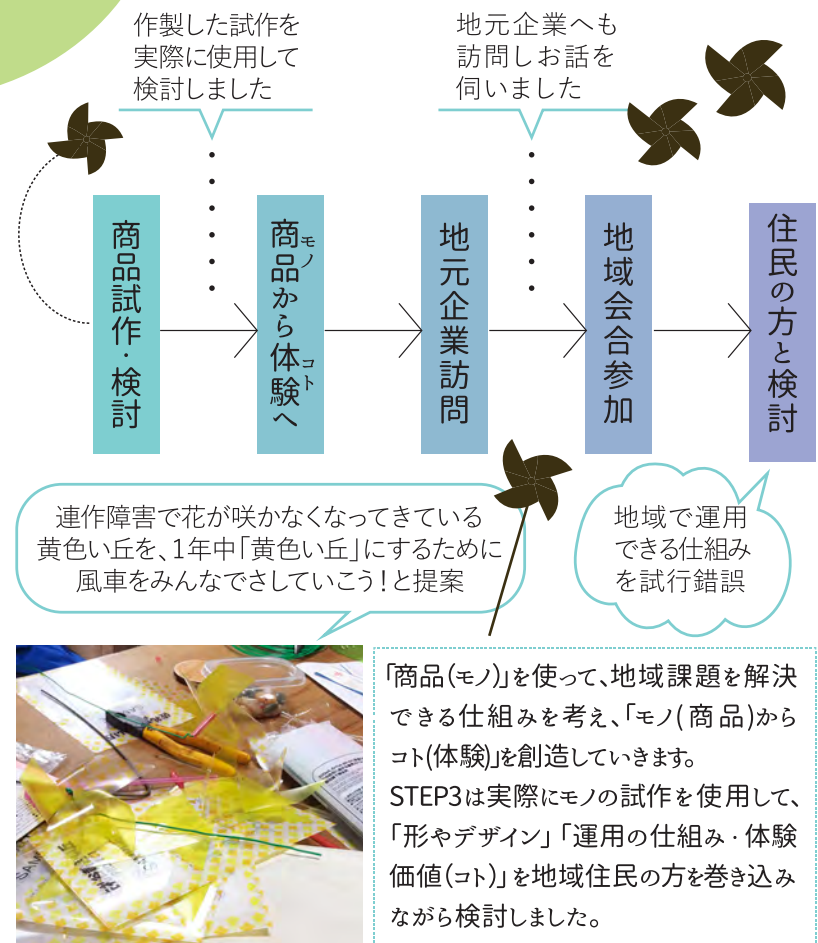
STEP2では、地域おこし協力隊の方が知る現地の魅力をお土産にするために、弊社社員が実際に現地へと赴き眠れる宝探しへ案内していただきました。

実際に地元住民の方にお話を伺ったり、地元の食材を使ったご飯を頂いたり、何気ない日常の風景がとても魅力的でした。そんな地域の魅力に触れていくうちに、だんだんと地域の抱えている問題・課題が見えてきます。

STEP2: 魅力発見ツアー



ますます、いよし。愛媛県伊予市 (中山町佐礼谷地区・下灘地区)



モノ コト

STEP3: 商品試作から体験創造へ

地元企業の「焼杉」の廃材に地域のマンホールデザインを使ってコースターにしました

表 裏

住民がつくる「されだに黄色い丘」と「日本一の夕日の町」

地域を盛り上げたいという意志の強い「中山町佐礼谷地区」と「下灘地区」のみなさん。住民主導で作った「黄色い丘」は連作障害に悩み、「日本一人が来る無人駅」こと下灘駅は思い出に残るモノがない…。そんな悩みを地域おこし協力隊と大王のコラボで解決しました。

STEP4: 仕様の決定 これからに向けて

住民の方、地元企業、行政の方と「これから」について内容の濃い話し合いの機会をいただきました。モノからコトへつなげていく中で、地域の魅力を伝えるために「何をすべきか」という声を形にしていきました。

